

平成 23 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 第 1 回幹事会要旨

日 時：平成 23 年 8 月 23 日（火曜日）午後 1 時から午後 3 時まで

場 所：森連会館 4 階大会議室（高知市本町 4 丁目 1 - 3 5）

出席者：別紙名簿のとおり

1 幹事長の選出

田村幹事（高知県林業振興・環境部長）を幹事長に推薦し、全会一致で承認。

2 報告事項

(1) 県民会議について

県民会議の会員数（平成 23 年 8 月 23 日現在）、250 団体。平成 22 年度総会以降、3 団体入会。

(2) 各部会からの報告事項

ア 県民部会について

◆年間スケジュールについて

23 年度年間スケジュールを資料（会議資料 3）を基に説明

◆部会・ワーキングの開催状況について

○第 1 回県民部会を開催（5 月 25 日、参加 5 団体 6 名（部会長・副部会長含む））

総会で承認された事業計画を基に本年度事業の確認及び提案事業を説明。次回、第 2 回県民部会は 8 月 26 日に開催予定。

○木づかいワーキングを 2 回開催

「積み木プロジェクト」の実施主体を「NPO 法人 84 プロジェクト」が担い、高知県ゆたかな環境づくり総合支援事業費補助金の申請を行うことを決定。

その他、夏休みの宿題等のアイデアを持ち寄り情報共有を行う。

○レジ袋削減ワーキングを 2 回開催（7 月 29 日、8 月 19 日）

本年度、新たにワーキングを立ち上げ、全県民会議会員に参画を呼びかけた。過去 2 年間開催したレジ袋削減キャンペーンは、参加対象を会員に限定していたが、本年度は県内の事業者に拡大することとし、10 月 2 日にキックオフイベントとして、マイバッグコンテスト・新聞バッグ作成、風呂敷の使い方などを合せたイベントの開催を決定した。

◆事業の実施状況・今後の取り組み

○豊かな環境づくり総合支援事業費補助金の申請

県民部会の提案事業として、1 件を予定。

○地域ブロック会の開催（8 月、4 ブロック）

「高知県地球温暖化防止活動推進員養成講座」と合わせて開催し、市町村への情報提供や温暖化防止活動推進員、温暖化防止活動推進センターとの情報交換を行う。

○環境家計簿について

・「子ども向け」

小学校での出前講座開催（スタッフ 5 名）目標 5 校に対して、8 校 + 1 団体

から講座開催希望があり(8月現在、4校の開催済)、今後、増加を見込む。

・「一般向け」

『家庭のものさし調査』の参加を県民向けに引き続き呼びかけている。

○交通エコポイントの利用還元事業(「ですか」でゴー)について

交通事業者から原資を提供いただき事業を進めてきたが、利用が伸びており、事業を継続するため、事業活動の原資を賄うための寄付を募るか検討中。

寄付への対価として「交通エコポイント」を売り渡す形式としたいので、県民会議会長名で証明書を発行することの了解を要請するもの。

証明書は権利・義務が発生するものではなく、寄付の記録と考える。

交通エコポイント

ICカード「ですか」を使って公共交通(路面電車・路線バス)を利用した場合、自家用車で移動した場合と比べて、二酸化炭素(CO₂)の排出抑制などの地球環境への貢献度を評価し、数値に置き換え見える化したもの。

1 交通エコポイント = 1kgのCO₂を排出抑制

= 路面電車で約6.5km・路線バスで約10.6km

<http://www.desuca.co.jp/information/20110720-info-ecopoint.php> より

○その他

グリーンコンシューマーワーキングに向け、自動販売機の調査の意見やアイデアが出された。

イ 事業者部会について

◆年間スケジュールについて

23年度年間スケジュールを資料(会議資料4)を基に説明

◆部会・ワーキングの開催状況について

○第1回事業者部会を開催(7月6日、参加31団体33名)

平成22年度事業報告、平成23年度事業計画説明、出席者と環境に関する取組などの情報交換。次回は10月に開催予定。

○ワーキングの開催(4月26日)

23年度の取組についての検討を行った。

◆事業の実施状況・今後の取り組み

○おらんくのストップ温暖化宣言事業者推進事業

チラシ(昨年度作成)を配布し、参加を呼びかけ。本年度新たに3社が宣言。

また、平成24年1月に「環境フォーラム」を開催予定。

○エコアクション21推進事業

エコアクション21の審査人を養成するため、資格要件を満たす者2名が10月の二次試験に向けて通信講座を受講中。

エコアクション21セミナーは高知市で開催、四万十会場は参加希望者が少数なため中止。

○省エネルギーアドバイザー派遣事業

無料で省エネのプロを事業所などに派遣する事業の利用を呼びかけ。

○エコ通勤ウィーク（11月14日（月）～20（日））

近々、案内を送付予定。

○省エネ機器導入促進事業

補助金等の情報を事業者部会ホームページに掲載。

◆幹事よりの意見等

エコアクション21は、建設業を中心に受審が飛躍的に伸びている。これは県の建設工事の入札参加資格を審査する際にポイントが加算されることが大きい。他の業種へ拡大させるため、インセンティブを与える方策について検討して欲しい。

エ 行政部会

◆年間スケジュールについて

23年度年間スケジュール資料（会議資料5）を基に説明

◆部会の開催状況について

○第1回事業者部会を開催（7月12日）

部会長に高知県林業振興・環境部杉本副部長を選任。

本年度3回の開催を予定。

南国市より昨年度開催したレジ袋ワーキングの報告を受ける。本年度は全市町村広報誌でレジ袋削減の啓発記事の掲載を決定。

レジ袋ワーキングは一定の成果を確認し、昨年度末をもって解散。

本年度は、地方公共団体実行計画策定ワーキングの立ち上げを予定。

四万十市から環境マネジメントシステム導入の取組を報告。

◆事業の実施状況・今後の取り組み

○地方公共団体実行計画の策定推進

市町村の策定状況調査結果（7月6日時点）では、昨年度に事務・事業編を新たに策定した市町村数2（計20）、事務・事業編に区域施策編を加えた（新）地方公共団体実行計画を新たに策定したい市町村数2（計5）

昨年は5市町村に直接訪問し策定を要請

○ワーキングについて

第一回行政部会で、実行計画策定の勉強会の開催要望が出されたため、本年度にワーキングを立ち上げ、作成の支援を行うこととした。

岡山県で開催される環境省主催の実行計画策定ワークショップ（8月31日～から年4回）に県が参加し、その内容等を市町村に情報提供する。

ワーキングの開催回数はワークショップの開催に合せ、年4回を予定。

○環境マネジメントシステムの導入

昨年度、2市町が導入。本年度は1市で導入予定。

○グリーン購入の推進

7市町村でグリーン購入基本方針を策定済。7市町村で今後策定予定。

○地球温暖化防止活動推進員の活用及び増員

平成23年7月12日現在、50名を委嘱。今後、増員を目的に東部、中部、幡多、嶺北の4ヶ所で養成講座を開催するとともに、推進員の活動を支援する。高知県地球温暖化防止活動推進センターが開催するブロック会を活用して、市町村との連携強化を図る。

○県民への地球温暖化防止の啓発

10月の3R推進月間にあわせて「レジ袋削減の啓発」のための記事を全市町村の広報誌に一斉に掲載することを計画。

◆幹事よりの意見等

意見 自治体等のグリーン購入基本方針の品目が少ないように思う。品目数を増やしていくような取組を目指していただきたい。

回答 対象品目を増やす取り組みも必要ではあるものの、基本方針の策定が7市町村のみであるため、策定市町村数を増やすことが重要と考えている。

意見 グリーン購入対象マークのものを買うだけなので、簡単ではないか。

意見 自治体が物品の購入時に、出来るだけ安いものを前提にしていると思う。年度初めに購入の品目を指定する等いろんなやり方で推進していただきたい。

意見 取組みの違いは、意識の問題や人的余裕がない等の事情があるとは思う。

回答 今後、開催予定の部会など、機会を捉えて取組みの推進を要請していきたい。また、県が蓄積するグリーン購入の取組みのノウハウ等を提供するなどして、支援を行っていく。地道な取組みが重要と考える。

質問 電気自動車に関する高知県の状況がどうか。また、企業や自治体に電気自動車が導入されているが、今後の充電スタンドの取組みが不明なので対応が見通せない。走行可能距離が100km程度のため、日帰り遠方へ外出できず、市内利用しか使えない。上手な対応方法があればと思うがどうか。

回答 インフラの整備や維持の費用負担のほか、今後、どのような整備の仕組みなどがいいか検討が必要。現在、県の具体的な計画はない。

意見 電気自動車を導入している会社の充電器を有料で使えるようにするなど、何らかの工夫ができないかと思う。

3 協議事項

豊かな環境づくり総合支援事業費補助金への申請事案について

平成23年8月12日付けで非営利活動法人NPO84プロジェクトから補助金の申請のあった、事業名「84はちよん積み木体験ワークショップ～みんなで積み木のまちをつくらう～」については、全会一致で申請事業として承認。

4 その他

次回開催は、豊かな環境づくり補助金の申請を予定する団体があるため、10月中に開催を予定。日時等の詳細は事務局が調整し通知することを説明。